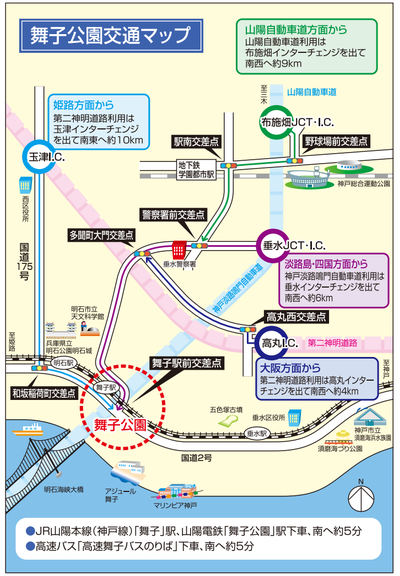
舞子公園交通マップ



●JR山陽本線（神戸線）「舞子」駅、山陽電鉄「舞子公園」駅下車、南へ約5分
●高速バス「高速舞子バスのりば」下車、南へ約5分

駐車場のご案内

◆第1駐車場（普通車）入車5時～23時（出庫24時間）
◆地下駐車場（普通車）入出庫 8時30分～18時30分(イベント時は延長あり)
◆大型車駐車場 入出庫 8時30分～18時30分
◆休業日 12月29日～12月31日
◆駐車料金
普通車 198台 1時間 200円(上限1,000円)
大型車 12台 2時間迄 1,600円(以降1時間毎に800円)（上限4,000円）

お問い合わせ先
「舞子海上プロムナード」舞子公園管理事務所
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051番地
TEL.(078)785-5090 FAX.(078)785-5109

http://www.hyogo-park.or.jp

H29. 7

来場記念スタンプ
The Maiko Marine Promenade

●舞子海上プロムナード

開館時間
9:00～18:00(通年)
9:00～19:00
(ゴールデンウィーク・夏休み)
最終入館 閉館30分前

休館日
4月～9月：無休
10月～3月：毎月第2月曜日
(祝日の場合は翌日)
12月29日～12月31日

入館料

		大人	シルバー
〈一般〉	土・日・祝日	300円	150円
	平日	250円	100円
〈団体〉(20名以上)	土・日・祝日	200円	120円
	平日	200円	100円

●旧木下家住宅・旧武藤山治邸

開館時間
10:00～17:00
(旧木下家住宅
12月～2月は16時まで)
最終入館 閉館30分前

休館日
月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日

入館料

	大人	シルバー
〈一般〉	100円	50円
〈団体〉(20名以上)	50円	40円

●高校生・中学生・小学生以下は無料
●高校生・シルバー(70歳以上)の方は年齢確認のできるものが必要です。
●身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示の場合は、本人およびその付添者1名が入館料無料となります。

便利でお得な **3邸めぐり入館券** も発売しております。

旧武藤山治邸
旧木下家住宅
孫文記念館(移情閣)

大人 340円

※各邸窓口で販売致しております。
※3邸のうち1邸でも休館の場合は、販売は致しません。

孫文記念館（移情閣）
Sun Yat-sen Memorial Hall (Ijokaku)

孫文を顕彰する日本で唯一の博物館

この記念館は、中国の革命家・政治家・思想家である孫文を顕彰する日本で唯一の博物館です。神戸で活躍していた中国人実業家呉錦堂の別荘「松海別荘」を前身としており、その別荘の東側に「移情閣」が建てられました。

その後、兵庫県が「移情閣」を管理していた神戸華僑総会から寄贈をうけ、改修を行い、1984(昭和59)年11月12日、孫文生誕の日に「孫中山記念館」(現「孫文記念館」)として一般に公開されました。また2001年11月には、国の重要文化財に指定されました。

孫文(孫中山)

この記念館には、孫文と神戸の関わりを中心に、呉錦堂の生涯、移情閣の変遷などに関する展示が行われています。

●お問い合わせ先：「孫文記念館（移情閣）」
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051番地
TEL.(078)783-7172 FAX.(078)785-3440

橋の科学館
Akashi Kaikyo BRIDGE EXHIBITION CENTER

明石海峡大橋のすべてがわかるサイエンスミュージアム

本州四国連絡橋は風、地震、潮流、複雑な海底地形などの自然条件、輻輳する航行船舶、漁労船など海峡を取り巻く厳しい建設条件などを様々な技術開発と創意工夫により克服し、調査から40年の歳月を費やし完成するに至りました。

「橋の科学館」は、その本州四国連絡橋のうちでも世界一を誇る明石海峡大橋を主体に本州四国連絡橋の建設に使われた、世界最高水準の架橋技術を一堂に集め、人々の知的向上心を高める学習の場として、また架橋技術をわかりやすく紹介したサイエンスミュージアムです。

●お問い合わせ先：「橋の科学館」
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町4-114 TEL. (078) 784-3339

便利でお得な **3館共通入館券** も発売しております。

孫文記念館(移情閣)
舞子海上プロムナード
橋の科学館

大人 680円

※各館窓口で販売致しております。
※発売日から1ヶ月間有効です。払い戻しは致しません。
※3館のうち1館でも休館の場合は、販売は致しません。

あらまし

千鳥通う白砂青松の舞子浜は、古くから詩歌に詠まれ、陸路を、海路を旅する人にこよなく愛されてきました。特に明治天皇はこの地をことのほか愛され、7回行幸されました。

兵庫県は明治33年(1900)、この天下の景勝の地を初の県立都市公園として開園しました。その後中国の豪商呉綿堂が別荘として建てた「移情閣」は、異国情緒豊かな建物で、松林とも調和し、舞子浜のシンボルとして親しまれてきました。そしてここに、中国革命の父・孫文が亡命中立ち寄ったことから、日中国交回復10周年を記念し、昭和59年(1984)、「孫中山記念館」(現「孫文記念館」)として開館しました。

このような天下の名勝も都市の近代化とともに変貌を遂げ、今、世界一の吊り橋である明石海峡大橋“パールブリッジ”のゲートとして衣がえし、世界から人々を迎えることになりました。今なお昔日の面影を偲ぶのどかな海峡風景とともに、海上約50mの橋桁の中空に設けたプロムナードによる新しい視点から、橋と海峡の眺めが楽しめることになりました。

Outline

The picturesque Maiko Seashore, with its white sand pine groves that attract flocks of plovers, is celebrated in poetry and songs, and been loved by the people who travel here by both land and sea since ancient times. Emperor Meiji took a particular fancy to it and visited as many as seven times.

This scenic area was opened as a park under the management of Hyogo Prefecture in 1900. Ijokaku was subsequently built here as the villa of a wealthy Chinese merchant. This exotic building, which now sits in harmony with the pine grove, is considered to be a symbol of the Maiko Seashore. It was opened to the public in 1984 to commemorate the 10th anniversary of the reinstatement of diplomatic relations between Japan and China as the Sun Nakayama Memorial Hall (currently known as the Sun Yat-Sen Memorial Hall.) and it was named after Sun Yat-sen, the father of the Chinese Revolution during his exile in Japan.

This famous scenic beauty spot was also an important place for transportation. It has therefore changed its appearance to cope with the modernization of the city. It now serves as the gateway to Pearl Bridge, the world longest suspension bridge, and the Akashi Kaikyo Bridge, and it welcomes people from around the world. Come and enjoy the scenery of the bridge and the channel from the new viewpoint now available on the promenade built approximately fifty meters above sea level between the struts of the bridge.

〈明治天皇歌碑〉

〈松籟橋〉

〈根上がりの松〉

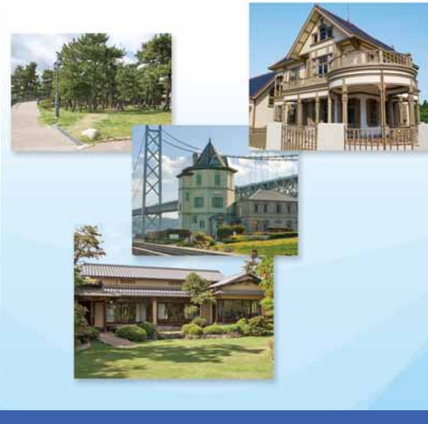
舞子公園

所在地	神戸市垂水区東舞子町
開園年月日	明治33年7月25日
面積	7.8ha
主な施設	管理事務所・松林・舞子海上プロムナード・孫文記念館・旧木下家住宅・旧武藤山治邸・駐車場・舞子デッキ・コンビネーション遊具

兵庫県立都市公園

舞子公園

Hyogo Prefectural Maiko Park



舞子海上プロムナード

Maiko Marine Promenade

世界一のつり橋 明石海峡大橋体験展望施設

舞子海上プロムナード

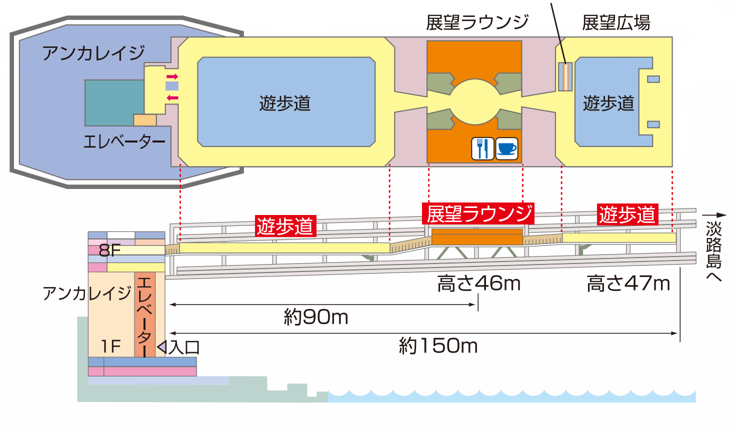
世界一のつり橋「明石海峡大橋」の神戸市側に添架施設として同時施工され1998年4月5日に開設された舞子海上プロムナードは、海面から高さ約47m、陸地から約150m、明石海峡へ突出した延長約317mの回遊式遊歩道です。

入口1階は明石海峡大橋をわかりやすく解説した資料やDVDシステムがあり、8階展望ラウンジには明石海峡大橋の主塔高さ約300mに登った気分が味わえる展望カメラシステムがあり明石海峡を眺望しながらゆっくりご休憩していただけます。また、スリルを体感したい方には「海上47mの丸木橋」をおすすめします。

The Maiko Marine Promenade was opened on April 5, 1998 as an auxiliary facility on the Kobe City side of the Akashi Kaikyo Bridge, the longest suspension bridge in the world. The promenade, about 47 meters above sea level, has a total length of about 317 meters and projects about 150 meters into the Akashi Strait.

Near the 1st-floor entrance to the promenade you will find easy-to-understand explanations and DVD of the Akashi Kaikyo Bridge, while from the 8th-floor observation lounge you can enjoy looking out over the entire bridge via a camera erected on top of the 300-meter tall main pylon. If you want a real thrill, try the log bridge: 47 meters above the ocean waves!

■館内案内図



海上47mの丸木橋

丸木橋から47m下の明石海峡は迫力満点です。

DVDシステム

1階エントランスホールには、明石海峡大橋をわかりやすく解説したDVDシステムがあり自由に操作しご覧いただけます。

8階展望ラウンジ

8階展望ラウンジは、明石海峡を行き交う船を眺めながらゆっくりご休憩していただけます。また、望遠鏡もあり明石海峡・大阪湾・淡路島の眺望をお楽しみください。

展望カメラシステム

8階展望ラウンジには、明石海峡大橋の主塔高さ約300mに登った気分が味わえるカメラシステムがあり自由に操作しご覧いただけます。

舞子海上プロムナード
～軽食・喫茶～

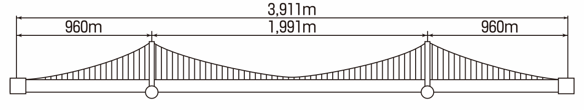
8階展望ラウンジにある海上レストランでは、美しい景色を眺めながらゆったりくつろげる76席を御用意して、皆様のお越しをお待ちしております。各種おみやげ品も豊富に取り揃えております。

■世界一のつり橋 "明石海峡大橋"

明石海峡大橋は、橋長3,911m、ケーブルを支える2つの主塔間の長さ1,991mで、世界一のつり橋です。

Span of the Akashi Kaikyo Bridge is 3,911m. Distance between two main tower supporting cable (center span) is 1,991m. It is the world's longest suspension bridge.

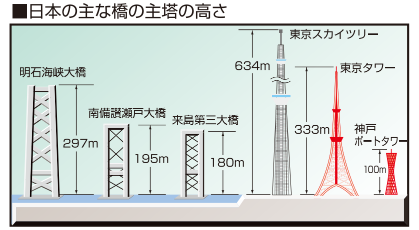
■明石海峡大橋



■世界の主な長大支間吊橋

順位	橋名	中央支間長(m)	国名	完成年
1	明石海峡大橋	1,991	日本	1998
2	舟山西候門大橋	1,650	中国	2009
3	グレートベルト・イースト橋	1,624	デンマーク	1998
4	イズミット湾横断橋	1,550	トルコ	2016(予定)
5	李舜臣大橋	1,545	韓国	2013
6	潤揚長江公路大橋	1,490	中国	2005
7	南京長江第四大橋	1,418	中国	2012
8	ハンバー橋	1,410	イギリス	1981
9	第三ボスポラス橋	1,408	トルコ	2015(予定)
10	江陰長江大橋	1,385	中国	1999

■日本の主な橋の主塔の高さ



舞子公園 **文化財住宅のみどころ**

国登録有形文化財

兵庫県立舞子公園

旧木下家住宅

旧木下家住宅

1941年に建てられた数寄屋造近代和風住宅です。創建時の屋敷構えをほぼ完全に残す貴重な建物で国の登録有形文化財になっています。

Former Residence of the Kinoshita Family

This house, built in 1941, is modern Japanese in style, inspired by the sukiya, or "tea room," architectural model. This rare building is registered as a tangible cultural property of the nation for its tea room-style structure which remains largely unchanged from the time of its construction.

旧鐘紡舞子倶楽部

旧武藤山治邸

旧武藤山治邸（旧鐘紡舞子倶楽部）

1907年に建てられた木造2階建てのコロニアル様式の建物です。明治期の西洋館の住宅形式や当時の実業家の生活を知る貴重な建物です。

Former Residence of Sanji Muto (Former "Kanebo Maiko Club")

This 2-story wooden colonial style house was built in 1907. It is a valuable architectural record of Western-style housing in the Meiji era (late nineteenth century) and of the lifestyle of businessmen of that time.

舞子公園周辺マップ